



2021年5月14日

各 位

会社名 ヤマシンフィルタ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦
(コード番号: 6240 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 井岡 周久
(TEL. 045-680-1671)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年2月12日に公表いたしました2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想と実績に関し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2021年3月期 通期連結業績予想と実績との差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	14,550	40	60	770	10.79円
実績 (B)	14,587	△145	△135	750	10.69円
増減額 (B-A)	37	△185	△195	△19	—
増減率 (%)	0.3%	—	—	△2.5%	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	12,674	777	603	608	8.79円

(注) 前提為替レート 米ドル 108円 (前回見直し公表時 108円)

2. 差異の理由

売上高については、建機用フィルタ事業を始め各セグメントで前回（2021年2月12日）公表した通期の業績見通しを上回りました。

一方、営業利益については、建機用フィルタ事業における、一時的に発生した航空運賃の影響や、ヘルスケア事業立ち上げに伴う費用の増加等により、各セグメントにおいて前回公表値を下回る結果となりました。

1. 建機用フィルタ事業

売上高については、新型コロナウイルスの影響により停滞していた主要得意先各社の生産活動は各国で再開され、日本、米国、欧州、アジア市場における当第4四半期（2021年1月1日～2021年3月31日）の需要は増加し、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻りつつあることから、前回公表値を上回りました。

営業利益については、コロナ禍により一時的に発生した原材料調達及び得意先への納期対応のための航空運賃の影響等により前回公表値を下回りました。

2. エアフィルタ事業

売上高については、前回公表値並みに推移した一方で、営業利益については本社工場移転に伴う諸費用の発生等により、前回公表値を下回りました。

3. ヘルスケア事業

売上高については、前回公表値と同並みに推移しました。

一方、営業利益については広告宣伝費用の増加や、来期以降本格展開する医療用の高機能マスクの認証取得にかかる費用や新製品開発に係る研究開発費用等の増加により、前回公表値を下回りました。

(参考) 事業セグメント別の通期業績予想と実績との差異

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

セグメント		前回公表値 (修正後) (A)	前回公表値 (修正後) (B)	実績 (C)	増減額 (C-B)	
売上高	内訳	合計	14,550	14,550	14,587	37
		建機用 フィルタ事業	10,950	10,950	10,970	20
		エアフィルタ 事業	2,600	2,600	2,607	7
		ヘルスケア 事業	1,000	1,000	1,009	9
営業利益	内訳	合計	40	40	△145	△185
		建機用 フィルタ事業	1,310	1,310	1,289	△20
		エアフィルタ 事業	50	160	123	△36
		ヘルスケア 事業	△40	△40	△150	△110
		調整額/ 全社費用	△1,280	△1,390	△1,408	△18

(注1) 各セグメントの業績及び全社費用をよりの確に把握するため、当社の各セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等の全社費用につきましては、所定のセグメントに配賦しない方法に変更しております。

なお、前期比較につきましては、変更後の算定方法及び区分方法により組み替えた数値を前回公表値（修正後）(B)欄に記載しております。

以上